

☑児童生徒を養育する保護者の経済的な負担の軽減や子育て支援を図るため、学校給食費実費徴収金の2分の1を無償化しようとするものである。

問次年度以降の制度設計についての考えは。

☑学校給食費の無償化は、国において今後議論が進められるものと認識している。市単独で実施することは、多額の一般財源を要することから、引き続き国の動向を注視しつつ、教育委員会と持続可能な制度設計について協議しながら、財源の確保に向けて検討していく。

問学校給食の質と量を確保し、学校給食費無償化の取り組みを継続していくための制度設計を伺う。

☑学校給食に関しては、質と量を確保することが前提である。引き続き国の動向を注視しつつ、財政当局と財源の確保と持続可能な制度設計について検討していく。

問肥料価格高騰対策をどのように周知するのか伺う。

☑対象者である農業者等に対し、市広報、市ホームページ等の他、さまざまな機会を捉え、事業周知等を行う。

問学校給食費について2分の1相当分の減額であり保護者負担があるが、一部無償化について市の捉え方を伺う。

☑今回、学校給食費の2分の1を無償化することは、全額の無償化でないことから、一部無償化と捉えている。

問選挙公約は完全無償化だが2分の1補助とした理由は。

☑財源確保、他事業とのバランス、施策の継続性等を総合的に勘案したものであり、公約実現の第一歩と考える。

問学校給食の安全性の担保について伺いたい。

☑食材購入における入札の際には、規格にさまざまな条件を付け、安全性の確保に努めている。

問母子生活支援施設への支援額が小さい。支援内容は。

☑施設の運営継続を支援するため、主に共用部分に係る光熱費の上昇額を勘案した補助金を支給するものである。

問学校給食費無償化の検討で児童等の意見を聞いたのか。

☑市立小学校6年生とその保護者、市立中学校の3年生とその保護者を対象としてアンケートをする予定である。

問児童等の満腹にならないという訴えへの受け止めは。

☑今後も給食についてのアンケートや食育で学校を訪問した際に、児童生徒から感想や意見を聴取し、給食の提供に活用していく。

問物価高が継続するなどして、賄材料費に不足が見込まれた場合、どう対応するのか。

☑不足が見込まれる場合は、財政当局とも協議した上で、質と量の確保を図るための対策を適切な時期に講じる。

問市長公約実現のために、庁内に予算要求すらしづらいような「物が言えぬ雰囲気」が生まれていないか。

☑当初予算では各部局の主体性と自立性を予算配分に最大限反映させる部局要求枠を採用していること、補正予算では必要な事業経費を適切に要求するよう通知を発出していることから、そのような状況はないと考えている。

問市長の公約であり、市民要望の多い学校給食費無償化にどう対応していくのか伺う。

☑保護者の経済的な負担の軽減、子育て支援等を図るため、財源の確保、施策としての継続性等も考慮しつつ、無償化に向けて、引き続き取り組みたいと考えている。

問食材費高騰分の予算増額で学校給食は充実するのか？

☑賄材料費の増額により、低価格食材から標準的な食材に極力変更して、給食全体の質を向上させていく。

問国では来年度小学校を念頭に給食費無償化を検討しているようだが、仮に国の無償化が先送りになった場合、市としては、一部無償化の継続は可能と考えるか。

☑国が学校給食費の無償化を先送りした場合でも、少なくとも今年度実施する予定の学校給食費の一部無償化は、令和8年度以降も継続したいと考えている。

同意第6号

教育委員会委員の任命につき同意を求めること

初雁自由政令会

問教育委員会委員は、一人一人が教育・学術・文化全てで高い識見を有する必要があるのか伺う。

☑必ずしも委員一人一人が全ての分野において高い識見を有することを求めているものではない。

問必ずしもそうでないとなれば、どの程度の識見が求められるのか伺う。

☑教育ないし教育行政の専門家であることまでは求められておらず、教育行政の専門家である教育長と委員が補完し合うことにより、教育委員会全体として大所高所から教育行政について判断することが求められている。

討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

議案第60号

令和7年度一般会計補正予算(第1号)

賛成 | 川越志政会

本補正予算は物価高騰対策や教育・まちづくりの課題に的確に応える内容であり、市庁舎整備構想や旧市民会館敷地の取得、旧市立診療所解体設計、中学校特別教室への空調整備に前進が見られたことは評価する。学校給食費一部無償化に関しては、「半額補助」などの正確な表現、給食のさらなる「質と量の確保」、財政調整基金に依存しない財源の確保が重要だ。市民と共に良いまちづくりを進めることを願い、賛成とする。